

シラバス〔総合的な探究の時間〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年		総合的な探究の時間	探究	1
教科書				
スタディサプリ探究講座				
授業のねらい（年間指導目標）				
LCによる学習コミュニティを形成し、「問い」と「学問」を結び付けた探究の基礎的な活動を行う。多文化共生の視点を取り入れ、相互理解を図りながら協働的な学びを一層深める。				
授業の進め方（年間指導計画）				
1学期	発見・気付き (アイデア企画)	探究の基礎 <ul style="list-style-type: none"> ● LCを編成し、日本人生徒と海外にルーツをもつ生徒を含む協働体制を整える。 ● 日常生活や社会に目を向け、個々の関心に基づいて、自ら問いを発見する力を養う。 ● 生成AIを思考支援ツールとして活用し、問いの背景や関連する視点を整理する。 		
		問いの設定 <ul style="list-style-type: none"> ● LCで対話を行い、個々の問いを比較・検討して共通の課題を見出す。 ● 生成AIに異なる立場の意見を出力させ、多面的な視点から問いを再構成する。 ● 1学期の活動を振り返り、問いの妥当性や課題点を確認する。 		
2学期	協働的な学び (問いと協働)	アイデア企画演習 <ul style="list-style-type: none"> ● 生成AIを用いて問いの焦点を明確にし、論点を整理する。 ● アイデア企画をクラス内で発表し、問いに対する相互評価を通して改善する。 ● 学年発表で問いを共有し、各グループの見直しにつなげる。 		
3学期		次年度に向けた振り返り <ul style="list-style-type: none"> ● 生成AIを活用して情報やデータの分類・整理を行い、文章構成や表現を見直して、説得力のあるアイデア企画に仕上げる。 ● 活動の過程を振り返り、成果と課題を具体的に言語化する。 ● 探究の成果を個人でまとめ、LCで共有する。 		
評価方法				
探究活動での課題テーマに対する取り組みの様子、成果物や発表内容に基づいて評価する。課題の設定や解決に向けた他者との議論の様子など、「主体性・協働性」に留意する。				
備考				